

青海省人材育成事業（円借款）



案件位置図

- 青海大学
- 青海師範大学
- 青海民族大学

1. 本事業の支援内容（円借款貸付額：26.71億円）

- (1)校舎の建設：計 66,904 m²
- (2)教育・研究設備の購入：例 関数発生器、溶解度測定器等の実験機材
- (3)教職員の訪日研修：82人



本事業で建設した青海大学医学院基礎医学教学楼

2. 本事業による日中大学間の交流

(1)大学間連携

- ① 協定締結：青海大学と宮崎大学
- ② 連携強化：青海師範大学と立命館大学、鈴鹿短期大学、武蔵浦和日本語学院

(2)博士号留学：宮崎大学（青海大学より2名）¹

3. グッドプラクティス

- (1)青海大学では、上記 1.(3)の訪日研修に参加した教員が主導的な役割を担い、「国家級実験教育パイロットセンター：チベット医学実験教育パイロットセンター」を設立。
- (2)青海民族大学では、本事業で購入した分取液体クロマトグラフィーや紫外可視分光光度計等を用いて、企業と共同でサジー²の果汁生産時に通常廃棄される皮から色素を抽出するリサイクル技術を開発し、廃棄物の削減に貢献。

¹ 博士課程への留学のほか、修士課程への留学も1名。

² ユーラシア大陸に広く野生している果実。和名スナジグミ。中国ではこれを用いた砂漠緑化および果実の利用に力を入れている。(出典：Wikipedia)